

広報長岡京

2019

8

Life

Nagackakyo

長岡京
ライフ

冷たいおだしで
召し上がれ。

かしこ暮らしっく
長岡京

- 特集 “美味しい観光拠点” できました
おばんざいとお酒「なかの邸」
- 6-7 「麒麟がくる」がホントにくる!!
～おもてなし大作戦、スタート!～
神足ふれあい町家 管理団体募集
- 8-9 防災レベルを高めよう!

- 10 認知症になっても、仲間とともに
RUN 伴 in 長岡京で市内を走ろう
- 11 自力でのごみ出しが難しい人へ
地域お助けサポーター募集
- 12-21 情報インデックス

<写真>

夏野菜をだしで煮込んだ「冷やしおでん」。涼やかな見た目でカラダにも優しく、つゆまでしっかり味わえます。詳しくは特集ページへ。

有形文化財でいただく
至福の一口

おばんざいとお酒

なかの邸 start

長岡京市に新しいグルメスポットが誕生しました。その名も「なかの邸」。だしにこだわった料理を、お酒と一緒に楽しめるお店です。建物は、名誉市民である故中野康男氏のご遺志で市が寄贈を受けた、国の登録有形文化財「中野家住宅」。歴史的な雰囲気を感じながら、おいしいひとときを楽しみませんか。

☎公共施設再編推進室 財産管理活用担当

☎955-9680 FAX951-5410







歴史的景観を今に伝える古民家で 地場食材を味わうひとときを

由緒ある町家 中野家住宅

鷹 の羽紋が描かれた紺色ののれんをくぐると、昔ながらの土間が広がり、柔らかい明かりにどこか懐かしい気持ちになる…おばんざいとお酒の店「なかの邸」は、国の登録有形文化財にも登録されている町家「中野家住宅」が舞台です。

建物は農家と町家の特徴を合わせ持つ珍しい造り。名誉市民である故中野康男氏の父で、衆議院議員や京都商工会議所会頭などを歴任した故中野種一郎氏の生家です。平成26年9月、市に寄贈され、

このたび「美味しい観光拠点」として生まれ変わりました。

“体に優しい味”を提供

一 番のこだわりは「おだし」。昆布やかつお節を使ったオリジナルブレンドで、時間をかけてゆっくり丁寧にとっているそうです。食材は、地元の新鮮野菜や宮津から届く魚介類。自然な調味料を使い、優しい味に仕上げたおばんざいが味わえます。全国各地から届く厳選された日本酒やクラフトビールなどのお酒も楽しめますよ。

ゆったりくつろげる空間に

運 営するのは、障がい者の就労を支援する団体「一般社団法人 暮らしランプ」です。「お客さんもスタッフも、誰もが実家のようにリラックスできる場所にしたいと思っているんですよ。『おいしいもの』があれば、それが叶うと信じています」と代表の森口さんは話します。



代表の森口誠さん

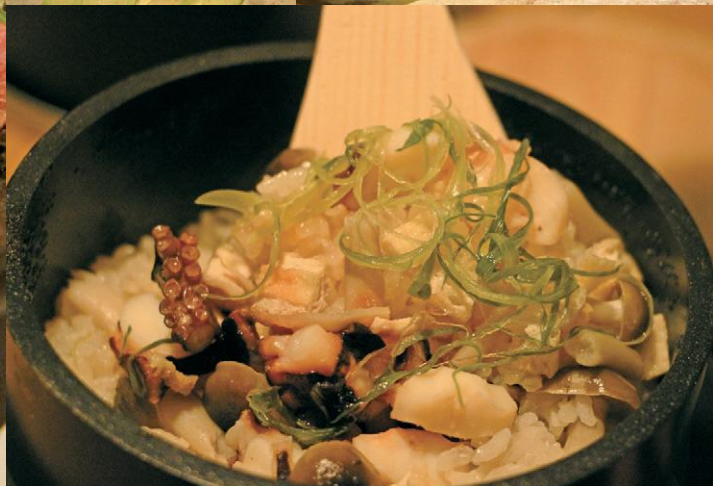
障がい者就労の新モデル

働 くスタッフは、障がいのある人たち。なかの邸は、全国でも珍しい

①			⑦	⑧
②	③	④	⑤	⑥
				⑨

- ① なかの邸の入り口にかかる家紋が描かれたのれん
- ② ③ ④ 玄関にあるモダンな意匠の照明
- ⑤ 椅子席がウレシイ畳敷きの店内
- ⑥ 自家製のローストビーフに舌鼓
- ⑦ 皮がパリパリの手羽先餃子
- ⑧ スタッフ手作りのウインナーはとてもジューシー
- ⑨ 目の前で炊き上げる、具がたっぷりのたこ釜飯





「障がい者が夜間に働ける飲食店」です。「昼間には働けない、という体質の障がい者もいます。そういう人たちが働ける場の選択肢を増やしたかったんです」と森口さん。接客を担当する西口さんは「カフェで働いていた経験もあるので、仕事はすぐに覚えられました。間違えないように、お客さんを待たせないように、と心がけています」と笑顔を見せてくれました。



西口毅さん

受け継ぐ“家”への想い

中

野康男氏のご子息で、所有者であった中野種樹さんは「生前から父

は、市に寄贈することを望んでいました。自身が暮らしてきた思い出のある建物を、長く保存していきたいと考えていたのだと思います」と語ります。「私も大学を卒業するまでこの家で暮らしていたので、たくさんの思い出があります。月がきれいな夜には、家族みんなで庭に出て月見をしたこともあるんですよ」と、懐かしそうな種樹さん。「たくさんの人に親しまれる施設になってほしいですね。食事に来られたお客さんだけでなく、地域の方や、観光に来られた方も気軽に立ち寄れるような場所になればうれしいです」と優しい表情で思いを述べられました。



中野種樹さん

地域で愛される場所へ

美

美味しい観光拠点として新たな一步を踏み出した「なかの邸」。市南部エリアに更なるにぎわいを生み、皆さんから愛されるスポットになってほしいと願っています。

今後は、昼間に地域のサロンやワークショップを開催するなど、まだまだ進化を続ける予定です。ぜひ足を運んでみてくださいね。



なかの邸

アクセス 阪急西山天王山駅から北東へ徒歩10分
営業時間 午後6時～10時(ラストオーダーは9時)
定休日 日・月曜日
席数 20席(座椅子14席、テーブル6席)、予約優先

〒617-0844 調子1-6-35

☎959-2877

✉nakanotei@kurashi-lamp.or.jp

🌐https://kurashi-lamp.or.jp



「麒麟がくる」が ホントにくる!!

2020年大河ドラマ「麒麟がくる」の放送開始まで、半年を切りました。実は、明智光秀と長岡京市には深～いつながりがあるんです。ドラマを機にまちをさらに盛り上げていこうと、市は奮闘中。あなたの力も、ぜひ貸してください!

岡市大河ドラマ推進本部事務局(商工観光課内)

☎955-9515 FAX951-5410

でも主役は明智光秀だし、
長岡京市には関係ないんでしょ?

関係

あるんです!

実は?!



山崎合戦は “山崎・
勝龍寺城の戦い” だった?!

「天下分け目の天王山」で知られる山崎合戦は、小泉川を挟んで大山崎町側に豊臣秀吉方、長岡京市側に明智光秀方が布陣しました。光秀は、勝龍寺城やいげのやま恵解山古墳を拠点にしたと言われているんですよ。実は「山崎・勝龍寺城の戦い」だったんですね。戦いに敗れた光秀は、勝龍寺城から坂本城へ退却する途中で命を落としたので、ドラマのラストシーンはもしかすると勝龍寺城になるかもしれませんね。



光秀が敗走したと伝わる北門跡には当時の石垣が残る

実は?!



注目は勝龍寺城主の
細川藤孝?!

ドラマのハイライトとなる、織田信長の京都上洛のきっかけを作った細川藤孝と明智光秀。信長に仕えた2人は、本能寺の変後に決別するまで行動を共にします。藤孝は、信長から長岡京市を含む桂川にしのおか以西の西岡一帯を与えられると「長岡藤孝」と名乗りました。後に54万石の大大名になり、有名人も多く輩出する細川家ですが、ルーツは長岡京市にあったのです。実は、細川護熙元首相は藤孝の子孫。細川家の18代目当主なんですよ。



細川家当主の細川護熙元首相

長岡京市にも関係があったんだ!
これは応援しなくっちゃ!



管理団体
募集

神足ふれあい町家

旧西国街道沿いにある神足ふれあい町家は、国の登録有形文化財である旧石田家住宅を保存し、地域振興を図るため設置されました。当初から指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを活用して運営しています。この指定期間が来年3月末で満了となるため、4月以降の管理者を募集します。

◎生涯学習課 生涯学習・文化財係(図書館3階)

☎955-9534 FAX954-8500

■神足ふれあい町家の概要■

▶住所 = 神足2丁目13-10

▶施設(数字は右写真に対応) = ①貸室(和室4部屋) ②喫茶コーナー ③文化観光情報と物産展示販売コーナー ④庭園

■募集概要■

▶指定期間 = 来年4月1日～令和7年3月31日

▶応募方法 = 9月3日(火)～10日(火)の平日、午前8時30分～午後5時に必要書類を左記へ。募集要項は8月1日(木)～9月2日(月)に左記で配布。

* 8月20日(火)午後1時30分から図書館3階大会議室で説明会を開催します。個人での応募はできません。



そうなの！
今はまさに
長岡京市を
アピールする
チャンスなの！



長岡京ガラシャ祭
マスコットキャラクター
「お玉ちゃん」

おもてなし大作戦
スタート！

市は、機運を盛り上げるべくさまざまな取り組みをしています！



忍者装束で大河ドラマの出前授業！



ガラシャ祭に合わせ、
勝竜寺城公園をリニューアルオープン！

この絶好の機会に、アナタのお店や商品をPRしませんか？

緊急募集！

おもてなし店舗

観光の盛り上げに一役買おう！
という飲食店やお土産など

大河ゆかりの商品

ネーミングやデザインなど大河
ゆかりの商品・サービス

新商品開発の相談

新たに大河ゆかりの商品・サー
ビスを開発しようとする事業所

【共通事項】 ▶内容＝長岡京市観光協会のホームページや大河ドラマ関連の印刷物などでPR。掲載期間は10月下旬～令和2年3月末(予定) ▶費用＝無料 ▶申込＝8月31日(土)までにファクスかメールで、店舗名(ご担当者名)、電話・ファクス番号を市大河ドラマ推進本部事務局へ
*「麒麟がくる」タイトル・ロゴ商品化説明会が9月2日(月)午後2時から、ハピネスふくちやまで開かれます。事前申し込みが必要です。

【商品例】

6月1日の大河ドラマキックオフ
イベントで販売しました！



光秀の家紋のピアス



アイシングクッキーで



お玉ちゃんの旗で



ネーミングで表現



人気の刀剣にパッケージに



外観



⑪



⑫



モンスター
大災害が来る前に

ボウサイ レベル

防災Lv. を高めよう！



8月は台風や大雨のシーズンでもあります。昨年は災害が多発し、不安を感じた人も多いはず。災害が起こる前に、できる備えは万全にしておきましょう。防災対策や地域の環境を事前に確認し、家族や地域で話し合っておくことで、あなたの“防災レベル”を高めませんか。

子どもも大人も、一緒に考えよう！

Lv. 1
まずは自分の身を守る！



- ・まずは、落ち着いて自分の身を守る。
 - ・テレビやラジオ、インターネットで情報を集める。
 - ・避難の判断をする。
- ▶ 「長岡京市防災情報お知らせメール」の登録を事前にしておく。



QRコードを読み取るか、
下記メールアドレスへ、
空メールを送信。

bousai.nagaokakyo-city@raidan.ktaiwork.jp

Lv.10
家族の安全を確保する！



- ・家庭内の危険なところ、避難所までの道順、緊急時の連絡方法などを、事前に家族で共有しておく。
 - ・数日分の食料を用意しておく。
- ▶ 「パパの防災力モリモリUPプロジェクト」に参加する。

パパの防災力モリモリUPプロジェクト(全3回)
～ 第1回 わくわくドキドキ避難所体験 ～

▶ 対象＝小学生以下の子を持つパパとその家族(先着10組)

▶ 日時＝ 8月24日(土)～ 25日(日) ▶ 場所＝きりしま苑

▶ 費用＝ 1家族1,000円＋保険代(1人200円) ▶ 要申込

☎総合生活支援センター内「フセマル」担当 ☎963-5508

メールアドレス：katei-fusemaru@nagaokakyo-shakyo.jp



HP

ミッション Mission!

京都府の総合防災訓練を体感せよ!

京都府内の防災関係機関が一体となって、総合的な訓練を行う「総合防災訓練」が、23年ぶりに市内で開催されます。

土砂や倒壊したビルの中から住民を救出する訓練や、ヘリコプターを使った訓練など、めったに見ることができない活動を間近で体感することができます。ほかにも、避難所運営訓練や自衛隊による炊き出し訓練などが行われます。



▶日時＝ 9月1日(日)午前10時～午後0時20分

▶場所＝村田機械(株)総合グラウンド(東神足1-12)
長岡第九小学校(東神足2-17-1)



☎防災・安全推進室 防災・危機管理担当
☎955-9661 FAX951-5410

Lv.20 近所の人と助け合う!



・普段からご近所付き合いを大切にしておく。

▶・「災害時にともに助け合う制度」に登録しておく。

「災害時にともに助け合う制度」とは

高齢者や体の不自由な人など、災害時に1人で避難が難しい人(災害時要配慮者)と、避難を支援する人(避難支援者)を事前に決めて登録し、地域の中で情報共有する制度です。登録しておくことで、災害時の、安否確認や避難の助けになります。

高齢者や障がいのある人のうち、一定の要件に当てはまる人には、8月上旬にお知らせをお送りします。登録希望の有無を返信してください。

☎社会福祉課 地域福祉・労政係 ☎955-9516 FAX951-7739

Lv.30 地域の安全を確認しておく!

危険な状態の空き家が攻撃しようとしている!

▶・瓦やアンテナを飛ばす。
・壁、波板を剥がす。
・草木を伸ばし、越境する。
(市窓口への相談順)

あなたは どうする…?

▶・近隣の人との情報交換などを通じて、所有者の連絡先などを確認しておく。
・市の空き家担当窓口にご相談してみる。

空き家は、地域全体に関わる課題です

空き家所有者のうち、7割以上が近隣住民と連絡先を交換しています。頻繁に管理できなくても、近隣と顔の見える関係を築いておけば、災害時の備えになります。空き家の管理方法などでお困りの場合は、ご相談ください。

☎都市計画課 空き家政策担当 ☎955-9743 FAX951-5410

動画でも紹介中!



危険な状態の空き家があらわれた!

RUN 伴 in 長岡京 参加者募集

一緒にまちを駆け抜けよう！

認知症になっても、仲間とともに



認知症の人や家族・支援者・地域の人が“ともに走り”リレーでタスキをつなぐ、RUN 伴。認知症サポートカラーのオレンジTシャツで市内を駆け巡ります。

地域の人との出会いや、顔見知りの関係づくりのきっかけに、一緒に走り、認知症の人でも安心して暮らせる地域にしませんか。徒歩や車いすでの参加也大歓迎です！

▶日時＝ 10月19日(土)午後 1 時30分～ 3 時30分

▶対象＝ 市内在住・在勤・在学の人

▶費用＝ 2,500円(中学生以下1,500円。Tシャツ代、保険代含む)

▶申込＝ 8月24日(土)までに下記へ

☎東地域包括支援センター（バンビオ内）

☎963-5508 FAX 958-6909

hokatsu@nagaokakyo-shakyo.jp

ひとつのタスキに思いを託して



オレンジTシャツを着て走ります



自力でのごみ出しが難しい人に

10月1日開始 “ふれあい収集”

「燃えるごみ」戸別に回収します

高齢者や障がいのある人で燃えるごみを集積場所へ持って行くことが難しい人を対象に、週に1回、自宅までごみを回収しに行きます。

☎環境業務課(分庁舎1)

☎955-9530 FAX955-9955

▶**対象**=次の①～③全てを満たす人 ①市内在住で、自力でのごみ出しが困難な人 ②要介護認定1～3か障害支援区分の認定があり、介護保険か障害福祉サービスのホームヘルプを利用している人 ③親族や近隣住民の協力が得られない人

▶**回収日**=平日の午後(曜日は相談して決定)

▶**申込**=ケアマネージャーか相談支援専門員を通じて申し込みしてください。サービスを利用するには審査があります。現在受付中。

*申請書は上記や、高齢介護課(☎955-2059)、障がい福祉課(☎955-9710 分庁舎3)で配布しています。詳しくはお問い合わせください。



↑蓋付きのごみ箱に入れてください。ごみの排出がない場合、希望者には可否確認もします。

地域お助けサポーター 募集

助け合いで広がる地域の輪

あなたの特技 生かしませんか

在宅高齢者のごみ出しをはじめ、福祉施設で話し相手になったりレクリエーションを一緒に行うなどボランティア活動をしています。現在サポーターは85人。「お手伝いがしたい」「特技を生かしたい」人は、ぜひお問い合わせください。

☎東地域包括支援センター(バンビオ内)

☎963-5508 FAX958-6909

Iさん

▶**支援先**=旭が丘ホーム紅葉葵(特別養護老人ホーム)

▶**頻度**=月に1回(1時間)

▶**内容**=入所者と折り紙、歌、ゲーム

▶**きっかけ**=元気の間に自分のできることで喜んでもらえるなら、と思いました

▶**感想**=難しいこともありますが、笑顔が見られるとうれしいです。体が不自由でも努力されている姿に、自分も刺激を受けて「頑張ろう」という気持ちをもえます。

先輩サポーターの声



先輩サポーターの声

Rさん

▶**支援先**=高齢者の個人宅

▶**頻度**=2週間に1回

▶**内容**=可燃物のごみ出しの手伝い

▶**きっかけ**=介護の現場を見て、スタッフの大変さ、高齢者の苦勞されている様子を知ったのがきっかけです。自分もいずれはお世話になるかと思い、元気なうちにできることをさせてもらおうと参加しました

▶**感想**=喜んでもらえる姿を見たり、喜びの声をいただくと、元気の源になります



次回の地域お助けサポーター養成講座は

9月26日(木) 介護複合施設 今里で開催!